

常磐新聞

定価 一月五元 三月十三元 半年二十五元 一年五十元

印刷所 福島縣石城郡平町長崎町五番地

電話 三〇七番

刊夕日十三月九

洋食は 向上軒

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 看護婦會

電話 三〇七番

常磐文藝 K生

野菊

小川のへりに たゞひとり 淋しく咲いてる 白野菊……

私はその頬にそとキスし 「お前ひとり」

淋しいかないの？

野菊は淋しく微笑みつ

「いゝえ私は 旅に出た

いとしいひとのかへりをば ひとり待って 居りますの……」

淋しいことは あるけれど 悲しいことも あるけれど やがてのその日を この胸に 小さく忍がいて たゞひとり 待つてゐるので ございます (九、二四)

社説

浅薄なる研究よ(七)

川崎文治

斯くの如き次第であるから所謂半減問題は決して平町に對する脅威でもなければ又取り去り難き不安として將來に禍根を残すべき性質のものではない、従つて研究會の云ふが如く『水量半減其他之れに伴ふ複雑な契約があるから萬全の策ではない』と斷定する事は甚だ早計に失するものであつて殊更らに水道の現狀に對し反對せんが爲めに反對する一顧の價値なき辯であるまた同時に複雑なる契約と

は一体何を指すか、言葉が抽象的である爲めに其意を解するに苦しむが、唯單に複雑なる契約が小面倒臭きとするならば、若し假りに平電氣と採水契約を締結すると假定して對者は盛衰浮沈限りなき一營利會社である爲めに平町としてはより以上抜き差しのならぬ複雑な契約を必要とするであらう、爲めに矢張り平電氣對平町の採水關係が萬全の策なりとは斷言し能はずであらう、而して又好問各環組合との複雑な契約は困るが平電氣會社となればどんな複雑な契約を締結するも吝ならざるものであると研究會が主張するものであつたとすれば、是れ甚だ穩かならざる言であつて、吾人は斷々乎として其の誤れるを大聲疾呼しなければならぬ即ち平電氣は左様に信賴する事の出來ぬ會社であるからである、今や事業の緒にも着かざる間に重役等が續々として收監されつゝあつて會社の成立さし疑はれ居るものに對して絶大な信任の意を表さねばならぬ事情は如何なる譯であるか、をそらくは研究會同人と稱する二三の限られたる人々も既に座が醒めねばならぬ筈である (續)

山古印醬油

味 經濟

元造 鹽屋本

電話 七二番

急告

廿五日より 大賣出し

本セル

本セル 一反 七、七〇より 本セル 船來一反 三、五〇より 本セル 純毛一反 二、五〇より

平町三丁目 三井吳服店 電話三八番

開業御披露

樂天地

前橋田録町平

湯藥と料理御

候上願を遊清御の日一非是

入院隨意

小兒科 皮膚科 花柳病科

平町城山(舊城跡)三の丸 青沼醫院 醫學士青沼淡夫 電話四〇三番

店好イ

良品ヲ安ク賣ル

クースーリ

關内藥舖 藥劑師關内栄助 電話四〇番

有價證券現物現貨

日本勸業債券通社

福島共榮無盡株式會社代理店

衛生材料、被服、藥品、食料品 和洋小間物、雜貨、卸小賣

大谷保太郎商店

平町南町(電話三四四番) 外交員數名募集

株式賣買中値

電話に金融致し

銘柄 拂込 時價

磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四〇〇
磐城實新	三〇〇	二七〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二四五
同 新	一五〇	一八八
同 新	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	三七五
同 新	二五〇	一七五
只見川電	一一五	七〇
植田水電	一一五	一五五
好問水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	五〇
磐城製菓	二〇〇	四〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	二〇〇
好問軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三二五	一七〇
小田炭礦	二五〇	五〇
磐城炭礦	五〇〇	四一〇
同 新	二二五	一八〇
磐城セメン	五〇〇	六四五
同 新	三三〇	四三五
平運送	一一五	八〇

平町田町 電話三三三番 丸登株式店 川添房二郎

### 平電不正事件の爲め 大瀧問題はとうなる

總べてが平町側の有利 心から知事は處信斷行

平電氣の不正事件は益々火の手が擧がり兎角の噂があつた馬目雄次郎氏も昨日收監さるゝに至つたから是れで同事件關係者は收監六名に及んだ譯であるが、一体此爲めに大瀧發電所問題はどうか、

#### 一説に

は事件終結と共に當然會社成立無効の言渡がある筈であるから縣知事の裁斷を待つ迄もなく發電所許可は自然消滅の姿となり茲に永らく粉擾を見たり問題も無事解決を見るに至らうとの事であるが町當局側の觀測に依ると不正事件と許可取消は全々別箇の問題であるから縣知事は事件進展如何に拘らず縣令違反の行爲に對して行政處置を決する爲めに近く何等かの裁斷を下すべきであつて仄聞する處に依れば依然として知事は知事の確信通りの處決に出でんとする意圖を有して居るものらしく例へば

#### 内情は

どうであつても發電所設置許可に接したものは小田炭礦であるから平電氣が不成立に終つたとしても其爲めに大瀧發電所の水利權は消滅するものでないから必らず縣當局として取るべき裁斷

#### 二つの變つた觀察

には變りがない筈である云ふにあつて何れにしても平町側には總べてが優利に展開されつつある

#### 平組頭會議

檢閲の協議

平署管内消防組頭會議は十月三日午前十時から平署樓上に於て開會する筈だが協議事項は秋季檢閲の件及び本縣組頭大會出席の件等

#### 風雨烈しく

#### 昨日の荒れ

雨量七斗七升

昨日平町附近を通過した暴風雨に就て小名濱測候所員の語るところに依ると昨朝午前六時土佐沖にあつた七百四十ミリの低氣壓は北東に向つて進行中正午中央氣象臺の電報では二つに別れて一は駿河沖一は紀州潮岬を北東に向つて進行し駿河沖の低氣壓は午後六時から六時半に平町を通過したが最大風力は午後五時十五米突方向は北東、降水量は四十二ミリ即ち坪七斗七升である向潮岬の低氣壓も北東に向つて居るといふから時間分らぬが平町附近を通過するであらうと

#### 入營延期許可

平町本年度一年志願兵にして入營を延期されたるは左記四名である

材木町河廣、二丁目坂田英介、月見町山崎六郎、南町鈴木武男

にて小學校準教員圖畫科試験に及第し此程証明書交付されしは左記の如くである 五丁目江尻ふみ子、同渡邊みの、一丁目鈴木木ちよ、香匠町稻島とく

#### 元警銀行員の收監は

#### 本人自身の數蛇行爲

政黨的反目等は無根の噂

#### 白井專務の談話

元警銀行富岡支店員千葉發心が行金横領の罪にて收監されたるに對し是れは平銀行の端山氏收監の返し恨みで新舊兩政黨の暗闘が具體化されたものであると誠にやかに波布する者があるが右に關し

#### 警銀專務

白井一郎氏は語る「千葉の不正行爲は古い問題で當時總べてを解決せしめ銀行としては損害を負はずに済む事となつたが斯る行員を雇つて置く譯にはゆかない爲め誠首したのであるが其後千葉は

#### 光る物に見える

銀貨を一枚

五十錢銀貨二枚を鷲掴みに酔ひぎの爺さんが廿九日午前九時頃平警察署に入つて来た、聞けば爺さんは田村郡大越村字下大越の石井豊造(五)といふ者で平町に買物に來たのであるが酔ながらも光るものは見ると見えて件の金を拾つたものだから三尺より五尺位のところを切り、その切口を空瓶に入れ、雨露の入りぬ様に布で巻き一夜おきますと一本のつるから多くは五六合少ないのは三四合はとれま



#### へチマから薬用

へチマの實をたわしにするのは誰もよく知つてゐる所でありませんが、へチマの實を取つた後、そのつるを地

#### 常磐片々

某政黨の御用紙、元警銀行員の收監は新舊政友反目の返し恨みとホザク

軍縮問題と減師問題とが近來喧傳せられ早晩實現を見んとしつゝあるが各中等學校に於て軍事教育を施す可

#### 學校が兵式教練を 輕視するは眞に慨嘆

軍縮と兵事教育に關し

滑川磐中校長語る

海軍を減する事は由々しき大事で今更らながら論ずる迄もない事であり依つて

#### 此對策

として學校に於ては軍事教育を奨励するは最も當を得た事であると思ふ、何れの學校でも秋季に發火演習を行ふてゐるが年に三回行ふて出来るだけ軍隊の知識を養ひ又重量ある背囊や銃を背負はせる事は最も適當であると認め

#### 此方面

のみを奨励し軍事教育即ち兵式教練の方を輕視する傾向があるのは眞に慨嘆すべき事と思はれる、元來國防上に於て陸

好間の水量半減請求、沈黙

#### 石城出水損害

石城郡當局の調査に依れば去る十七日の水害の爲めの桑園並に水田及び畑地の損害は約二十萬九千圓を算し桑園被害の爲め收縮減少は八百圓にして其損害高は七千八百圓に達してゐると

#### 個人消息

●白井博之氏 (農銀頭取) 下山田嘉七翁の葬儀に參列の爲め歸郷中の處本日福島に向ふ ●辻利吉氏 (本縣學務課長) 警城中學校及び警城高等女學校視察の爲め本日來平した

#### 不平受付

投書歡迎

直ぐに水難、少しの雨で直ぐ下水堀から水が溢れ私の店先等はイツでも浸水します、其爲めに雨が降るたびに毎にヒヤヒヤして居るのです、新道路もよいでせうが下水堀の改造は平町として急務中の急務であると思ひます (困却生)

#### 伏見助役の答

下水堀が不完全な爲めに難儀な

る事は誠に御氣の毒に耐えませんが、御説の通り下水の改造は最も必要なる事ですから町として目下調査研究中であります

傷の際にも塗つて用ゐます化粧水、あせもの藥になるのは世間でよく云はれてゐる事ですが、追々倒す糸瓜の後を一寸の手敷ですが試してみても何かの便になることと思ひます、なをこれからは寒さも近付く事ですから、ヒンヤアカヤレなどにはよくきくます

に取りかゝつたと

#### 悪水豫防協賛

平町外飯野内郷二ヶ村悪水豫防組合にては本日午前十時から水道課樓上にて豫算更正の件に關し協議した

#### 平町人事

##### 出生

△立町 竹田彌一郎氏二男久四郎 △白銀町 中條金治氏三男司 △四丁目 山本長吉氏長女シン △田町 吉田仙治氏四女ウメ △三丁目 永山小平氏五男昌平

##### 婚姻

△石城郡四倉町 木村延安氏(二七) 四丁目北村キヨ(二二)

##### 死亡

△鷹匠町 大橋雲子(三三)

#### 体育大會參加

先般の本縣青年團聯合體育大會に石城郡より參加し優勝した平町青天目源一郎、澤渡村佐藤高丸の兩君は明治神宮のグラウンドに於て開かれる全國青年體育大會に出場決定したと

#### 各町村に

#### 水源池設備

日照に鑑み

石城郡地方は近年稀なる大旱魃に依つて用水々源池完備の計劃を痛感し郡當局でも又これを非常に奨励し農民も自覺して設備せんとし各町村共に水源池の設備